

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は10月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

全国訪問看護事業協会 令和3年度研修会 (Web開催)

◎精神科訪問看護研修会——精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会(第3回)

募集期間 11月1日(月)～12月24日(金)

受講開始日 11月1日(月)

受講可能期間 3か月間

講義時間 20時間

参加費 会員1万5000円、非会員2万5000円

対象 訪問看護ステーションの精神科訪問看護に従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士

概要 精神科訪問看護の実際(利用者との信頼関係構築、対人関係の援助、日常生活の援助、症状悪化の早期発見、危機介入、医療継続の支援、精神科リハビリテーションの概念と実際、精神障がい者の理解・精神科疾患における薬物療法、保健・医療サービス提供システム、精神科訪問看護の理解とアセスメント、看護職のGAF評価)

◎訪問看護ターミナルケア集中講座——訪問看護が支える在宅

ターミナルケア(第3回)

募集期間 11月1日(月)～12月24日(金)

受講開始日 11月1日(月)

受講可能期間 3か月間

講義時間 21時間

参加費 会員4万3000円、非会員8万3000円

対象 訪問看護に従事する看護師等

概要 がん治療の現状・動向、緩和ケアにおける薬物療法、在宅ターミナルケアの考え方と取り巻く法的知識、在宅ターミナルのプロセスとケアのポイント、ターミナル期の疼痛コントロールおよび症状緩和の理論と実際、臨死期のケア、エンゼルケア、退院支援の進め方と実際、事例検討(ACP)

◎訪問看護におけるリスクマネジメント——利用者とスタッフと事業所を守る(第2回)

募集期間 11月28日(日)

受講可能期間 2か月間

講義時間 13時間30分

参加費 会員1万7000円、非会員3万2000円

対象 訪問看護に従事する看護師等

概要 訪問看護における法的責任、訪問看護師が受ける暴力、訪問看護に求められる医療安全、訪問看護ステーションでのリスクマネジメントの実際、訪問看護におけるインシデントレポートの分析・活用方法等、事業所における業務継続計画(BCPについて)

◎訪問看護のための再度確認！
保険請求業務(第1回)

募集期間 11月28日(日)

受講可能期間 2か月間

講義時間 6時間

参加費 会員8000円、非会員2万2000円

対象 訪問看護に従事する看護職員(准看護師除く)、管理者またはそれに準ずる看護職員と視聴できる事務職員

概要 訪問看護ステーションにおける介護保険・医療保険の算定構造、保険請求の実際、公費請求の実際、間違えやすい請求、『訪問看護実務相談Q&A』の活用、施設の訪問、令和3年4月の介護報酬改定について

【以下共通】
◎全国訪問看護事業協会

TEL 03-33351-5898
FAX 03-33351-5938
E-MAIL https://www.zenhokan.or.jp/

東京都看護協会 令和3年度訪問看護 人材確保事業講演会 「はじめてみよう！」

訪問看護(Web開催)

日時 11月13日(土) 13:30～16:00

対象 都内在住・在勤・在学の看護職・看護学生等

プログラム 基調講演「深化・進化する〈訪問看護〉」秋山正子(株式会社ケアーズ代表取締役、白十字訪問看護ステーション統括所長)／シンポジウム「訪問看護の職場はどこなところ?」丹内まゆみ(株式会社みゅうちゅある訪問看護ステーションたんば代表)、訪問看護師になるためには?」竹森志穂(聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授、「訪問看護の世界に触れてみて」岡田千津(医療法人社団竹口病院看護部長)、訪問看護を始めて思うこと」天野紗恵香(東京ふれあい医療生活協同組合ふれあい訪問看護ステーション)

参加費 無料

定員 200名

申込締切 10月31日(日)

申込方法 左記URL参照
<https://www.tna.or.jp/nurse/entusted/nounonrecruit/res/>

◎東京都看護協会 事業部

TEL 03-63000-5368

zaitaku@na.or.jp
https://www.tna.or.jp

日本在宅看護学会 第11回学術集会 (Web開催)

日時 11月13日(土)～14日(日)

テーマ 危機の時代における在宅看護の覚悟と挑戦

プログラム 学術集会会長講演「危機の時代における持続可能な在宅看護の提供」結城美智子(北海道大学大学院保健科学研究教授)／特別講演「『ふだんの暮らし』に深く浸透する在宅看護の視点」河原加代子(東京都立大学健康福祉学部教授)、II「公衆衛生の緊急事態に在宅看護職が知っておきたいリスクコミュニケーション」蝦名玲子(グローバルヘルスコミュニケーションズ)、III「医療資源の少ない地域での遠隔医療の方策」大津崇輔(経済産業省)／教育講演「訪問看護師のフィジカルアセスメントと看護ケア——人の進化から学ぶ看護」平原優美(あすか訪問看護ステーション統括所長)、II「東日本大震災・福島原子力発電所事故後のこれまで、そしてこれから——被災地で求められる支援」大川貴子(福島県立医科大学看護学部准教授)、III「在宅ケアを受ける患者・家族

からの暴力・ハラスメント防止方策——訪問看護利用者へのケアの質の維持、スタッフの安全確保」三木明子(関西医科大学看護学部教授)／パネルディスカッション(ライブ配信)「在宅看護の予防的活動による基礎強化」前田直宏(帝京大学医療技術学部助教、高橋洋子(おもて参道訪問看護ステーション所長)、黒沢泰子(黒沢クリニック看護師)、II「危機／災害を経験して、次の危機／災害に備える」木村浩美(訪問看護ステーション清雅苑管理者)、廣井三紀(細木病院在宅部長)、岩本大希(WYLL株式会社代表取締役)／シンポジウム(ライブ配信)「『新卒訪問看護師がイキイキ育つプログラムと環境づくり』今野好江(北海道訪問看護ステーション連絡協議会代表)、川添高志(ケアプロ株式会社代表取締役)、森下幸子(高知県立大学教授)、II「地域特性と在宅看護」柏木久美子(福島県立医科大学会津医療センター奥会津在宅医療センター看護師)、富山鈴華(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター副看護師長)、中村裕美子(大阪府立大学名誉教授・客員教授)、III「医療的ケアを必要とする子どもの健やかな成長への支援」山本詩子(母子訪問看護ステーション山本管理者、市原美恵(認定特定非営利

活動法人ホームホスピス宮崎)、堤育子(認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎)、黒木健太(認定NPO法人フローレンス障害児がくぞく伴奏局マネージャー)／理事会業務委員会企画指定交流集会(ライブ配信)「Machiコロナ時代の在宅看護：経験を語り合い明日につなげよう」／学術集会企画委員会企画指定交流集会(ライブ配信)「想いをかなえる看護の仲間 看護カフェ『参看日』、II「療養者と市民の支え合う力を信じて——在宅ホスピスボランティア活動の育成」／市民公開講座「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らす」青柳道子(北海道大学大学院保健科学研究院講師)、II「医療的ケアが必要でも安心して暮らせる社会を」内多勝康(国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー、元NHKアナウンサー)／教育セミナー「今回の保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正でどのような学生が育成されるのか」清水準一(東京医療保健大学千葉看護学部教授)、II「被災者支援のための支援」早野貴美子(防衛医科大学校看護学科教授)、III「コロナ禍だからこそ見えてきた看護の底力・退院支援、意思決定支援」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所、IV「口腔内のアセスメン

トとケア」村松真澄(札幌市立大学看護学部准教授)、V「聞き書き」の教育への応用(照井レナ(小樽商科大学)、VI「薬剤師による在宅療養支援のポイント」白石丈也(けや木薬局管理者)／共催セミナー(ライブ配信)「80歳までに3人に1人が発症する可能性のある带状疱疹、看護師によるコミュニケーション戦略」探華子(静岡県立大学大学院看護学研究科)／ほか

参加費(後期登録) 会員1万円、非会員1万2000円

登録方法 左記Webサイトの登録フォームより

登録締切 11月4日(木)

問い合わせ シー・プロ内運営事務局 060-0807

北海道札幌市北区北7条西4丁目8-3 北口ヨシヤビル5F

011-299-5910

011-299-5911

zaitaku@kango.ac.jp

https://zaitaku.kango.com/

shukai_11/index.html

第52回日本看護学会 学術集会(Web開催)

日時 「ライブ配信」11月18日(木)～19日(金)、「オンデマンド配信」11月26日(金)～12月26日(日)

「ライブ配信」11月18日(木)～19日(金)、「オンデマンド配信」11月26日(金)～12月26日(日)

テーマ 看護の力で健康な社会を！

プログラム 基調講演「看護の力で健康な社会を！」福井トシ子(日本看護学会学術集会会長)／特別講演①「2040年を見据えた看護の課題とその対応」井伊久美子(日本看護協会)、②「AI時代におけるこれからの看護とは」真田弘美(東京大学)、③「新型コロナウイルス感染症における日本の医療体制(仮)」尾身茂(地域医療推進機構)／教育講演①「未来に向かって看護の真価を発揮——生涯にわたる専門職の誇りと自覚を持ち続ける——手島恵(千葉大学)、②「データヘルス改革によって医療・看護現場がどう変わるか——健康寿命の延伸、効果的・効率的な医療・看護サービスを目指して」北岡有喜(京都医療センター)、③「これからの社会に期待される看護の役割——看護の力で健康な社会を！」(仮)大谷泰夫(神奈川県立保健福祉大学)、④「コロナ禍におけるハラスメント対策——看護職をとりまく状況から」友納理緒(日本看護協会)／シンポジウム①「母子が健やかに子育てできるまちづくりに取組もう」佐藤拓代(母子保健推進会議)ほか、②「タスク・シフト／シェアの流れに看護はどう対応していくべきか——看護の専門性を発

揮するタスク・シフト／シェア」
 井本寛子（日本看護協会）ほか、
 ③「2025年に向け、あなたの施設で必要な人材は？」——「特定行為研修を活用したマネジメント」古岡佐知子（松江市立病院）ほか、
 ④「新型コロナウイルス感染症から学ぶ」——保健・医療・介護・福祉の連携を考える「松本珠実（大阪市）ほか／交流集会①「はじめよう！地域課題の解決にむけた事例検討会——保健師・助産師・看護師がつながる新たなカタチ」岩本里織（神戸市看護大学）ほか、
 ②「看護の力をさらに引き出す——看護業務の効率化を進めよう！」保坂明美（トランスユイット訪問看護ステーションフレンド）ほか、
 ③「知ってトクするナースセンター活用術——仕事探しだけじゃない！あなたのキャリアをキャリアコンサルタントが支援します」広島博美（神奈川県看護協会神奈川県ナースセンター）ほか、
 ④「多職種協働に向けたDNCデータの活用——労働と看護の質向上を目指して」松本美保子（回生病院）ほか、
 ⑤「看護の力、新たなアイデアで健康な社会をつくらう——看護職の地域における活動の場の広がり」高橋弘枝（大阪府看護協会）ほか、
 ⑥「継続教育の形が変わる——オンライン教材を活用した看護実践

力の強化」西村礼子（東京医療保健大学）、
 ⑦「2040年を見据えた看護職資格の活用基盤の強化——20年後も人々の健康を支えるために」秋山智弥（日本看護協会）ほか、
 ⑧「看護が健康な社会をつくるためのリーダーシップとエビデンス」大田えりか（聖路加国際大学）ほか、
 ⑨「都道府県看護協会公募企画④「愛知県、地区支部が初動する災害時応援体制——医療機関からのSOS情報をキャッチし、応援体制を整える」高木仁美（愛知県看護協会）ほか、
 ⑤「新潟県：専門性の高い看護職員育成に向けて——県内の各機関と連携しての取り組み」、
 ⑥「奈良県：在宅看護特別教育プログラム——看護学生の時から看護実践力を育てる継続教育プログラム」伊藤絹枝（奈良県看護協会ホームナッシングセンター）ほか、
 ⑦「一般公募企画③「行政と特定機能病院が連携したフレイル／オーラルフレイル予防」渡邊仁美（鳥取大学医学部附属病院）
参加費 会員9900円、非会員1万4850円、学生4400円
参加登録方法 下記Webサイトの参加登録フォームより
問 運営事務局
 〒261-8550
 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1
 幕張メッセ・事業企画課内

☎043-296-0623
 （平日9:00～17:30）
 ☎043-296-0529
 ✉2021makuhari@nagakai.jp
 https://2021makuhari.nagakai.jp/index.html

第27回日本精神保健社会学会学術大会 （Web開催）

日時 11月23日（火・祝）
 開催形式 Zoom
 テーマ コロナ禍のストレスを乗り越えるレジリエンスの課題——個人の課題と社会の課題
 内容 基調講演 宗像恒次（SAT情動認知行動療法研究所・筑波大学名誉教授／シンポジウム：「新型コロナウイルス感染症の診療 精神科医の立場から」福田陽明（都立松沢病院 精神科医）、神戸市における新型コロナウイルス感染症の訪問看護の経験から——訪問看護師の立場から」藤田愛（北須磨訪問看護・リハビリセンター所長）／ディスカッション
参加申込方法 下記メールアドレスあてに、氏名、メールアドレス、電話番号を記載して送信し、参加費を下記口座に振り込む。
参加費 一般3000円、学生2000円
参加費振込締切 11月12日（金）

※振込名には、個人名および「参加費」と記載
振込先口座 ゆうちょ銀行・ゼロイチキョウ店・当座・0613036、加入者名：日本精神保健社会学会
 ※振込確認後、開催前日までに招待メールが届く。運営の都合上、当日の参加はできない。
問い合わせ先 日本精神保健社会学会事務局（担当：村上）
 〒171-0021東京都豊島区西池袋2-39-8ロースベイ池袋ビル3階東京メンタルヘルス内
 ☎03-39886-3220
 ☎03-39886-3240
 ✉murakami@mental.co.jp
 http://www.janhs.org/

第39回日本東方医学会 （Web+現地開催）

日時 11月28日（日）10:00～16:30
会場 御茶の水ソラシティカンファレンスセンターソラシティホール2階（東京都千代田区）
テーマ 耳・鼻からはじまる健康長寿——本邦初！東方の叡智が集結
プログラム 会頭講演「温故知新の耳鼻咽喉科」北西剛（きたにし耳鼻咽喉科）／教育講演「東洋医学の謎を解く新たな臓器『ファシア』」建部陽嗣（量子医科学研究所）

／シンポジウム「漢方・アユルヴェーダ・チベット 東方医学の叡智集結」奈良和彦（東邦大学）ほか
参加費（事前申込）会員7000円、非会員1万円、学生1000円、同行の事務員・看護師3000円
 ※2020、2021年度入会者は無料（会員登録中）
問 事務局
 ☎03-6264-3015
 （平日10:00～16:00）
 ☎03-6264-3016
 ✉gaka@photo.or.jp
 https://www.photo.or.jp/